

「ダイニングテーブルに座ってみんなを眺められる時間が一番好き」。家を建てたことで味わえる幸せが増えた。



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.045
カムホームストーリー



香南市・Nさま邸
竣工:2013年12月
設計担当:川口恵里奈

「私たちのことを想ってくれる“人”だと感じたから」

古くて住みにくい借家暮らしが辛くなってきて、「家がほしいね」と話しはじめた頃、ふらりと立ち寄ったハウスメーカーの展示場。営業マンに「業務的な話し方をされてグイグイ売られました」という奥さまは、大きな家を見ても自分たちが住む家ではないと感じ、他を見に行くことになりました。そこで以前「こんな家に住めたら幸せだなあ」と見たタイセイホームの広告を思い出し、実際に施主がオーダーして建てた家を見学しました。大きさもちょうどサイズで現実的、想像ができる家に感動したと言います。そこで話をした岡村（お客様サポーター）が今までの営業マンと違って、気になることを聞いたら分かりやすく教えてくれて、無理な売り込みもなく安心できたそう。「お金のことが一番不安だった」という奥さまは、他社から安易に大丈夫と言われたことにしっくりこず、親身に話を聞いてくれる岡村に相談することに。細かな資金計画をしてくれ、建てたあとも安心して暮らせることが分かり、旦那さま「これなら大丈夫」と納得できたそうです。「私たちのことを想ってくれる“人”だと感じたから」という出逢いです。

「ダイニングテーブルに座ってみんなを眺められる時間が一番好き」

以前の家で嫌だったのが、リビングとキッチンの中に仕切りがあったこと、使いづらい大きな押入れ収納や他にもいろいろ。壁をなくしてオープンにしたLDKは、家族とのつながりを感じられる場所になりました。「ダイニングテーブルに座ってみんなを眺められる時間が一番好き」だと嬉しそうな奥さま。お庭で遊ぶ子どもたちにも目が届く安心設計です。収納の取り方は、自分たちの持ち物がこれぐらい、ここにコレとコレをしまおうと決めて、生活スペースを確保しながらつくりました。「えらいピッタリ(笑)」という持ち込みの家具も隙間なく収まり、この空間どうしよう…という「もったいないスペース」が解消されています。また、脱衣室につけたポールは雨の日の室内干しはもちろん、干す前にここでハンガーにセットして、そのままウッドデッキへ運ぶ流れが「すごくラクにできる」と奥さま。このおかげで暑い日や寒い日、少しでも外での滞在時間が短縮できるそうです。お布団はお庭に干そうと考えていましたが、二階への上げ下げが大変なため、「妥協せずにベランダは広くておいたほうが良かったかも」と振り返ります。

「ストレスのない、満足の家になりました」

遊び心も盛りだくさんのNさま邸。キッチンカウンターには奥さまが目ぼれたポイントタイルを色違いで貼って、カフェみたいいに小物が置ける飾り棚もオーダー。リビング壁面につけつけたブックラックには表紙がかわいい雑誌やお子さんのお気に入りの絵本をそと。家族の写真が飾れるニッチやしついくの塗り壁に押した家族の手形も、世界にひとつしかない特別なものです。旅行好きのNさまは、以前の家では「あの家に帰るのか〜」と憂鬱になっていたのが、今では「やっぱりわが家が一番落ち着く」と感じるようになったそう。周辺環境からも解放され、子どもたちに「静かにしなさい!」と叱ることも減りました。広いお庭で自転車の練習をしたり、ボールを蹴ったり、のびのびと遊ばせられることがうれしく、家を建てたらやりたかったガーデニングもそろそろ始めようと考えています。できるだけこうしておいたほうが良かったと思わないようにするには、「優先順位をしっかりと決めることが大事」だと奥さま。その中で譲れないところをクリアしていたらあとの細かいところは気にならなくなると言います。家を建てたことで味わえる幸せが増えて、「ストレスのない、満足の家になりました」と、うれしい思いでいっぱい奥さまです。